

2024年5月20日

名古屋市教育委員会 調査検証チーム
委員（座長） 寺 脇 研 様

愛知県教職員労働組合協議会（愛教労）
名古屋市教職員労働組合（名教労）
がっこうコミュニティユニオン・あいち（アスク）
がっこうコミュニティユニオン・なごや（ナスク）

人事に関する愛教大等学閥の影響を深く調べてください

貴チームにおかれましては、発足以来、会議、ヒアリング等多岐にわたる活動を精力的に実施し、全貌解明のため、日々調査をすすめていることと思います。

3月29日に出された中間報告には、これまで行われた推薦名簿及び金品の授受は不適切であったこと、「内覧」については本件が発生した背景事情の分析とあわせて調査検証が必要であることなどが報告されました。また、教員同士の互助的かつ閉鎖的な関係が背景事情のひとつとして存在することがうかがわれ、最終報告書では、教職員課組織の執行体制と教職員人事行政の在り方全般の検討、金品授受の慣行を長年に渡って容認してきた背景事情もとりまとめる予定としています。

わたしたちは、この問題の本質は、一部の愛知教育大学出身者によって作られているグループ（以下「愛教大学閥」と言う）が、市教委内で不正常な意思決定機関を構成し名古屋市教育行政に歪んだ影響を与えていることにあると考えています。教職員課課長、同首席管理主事は過去15年以上に渡って、すべて愛教大学閥出身者が独占し、彼らの多くが外部団体から金品や推薦名簿を受領したわけですが、わたしたちはこの不適切な事実は、氷山の一角と捉えています。

本市教育行政における愛教大学閥優遇案件は、校長、教頭任用関係だけでなく、定年退職後の再任用や外郭団体へのいわゆる天下り、一般教諭人事異動等でも取りざたされています。また校長会等教育の第一線から退いても、なお隠然と影響力を行使し、ことあるごとに市教委の相談を受ける「長老」の存在も本市の教育に大いに影響を与えています。

金品や推薦名簿の授受は長年の慣行であること、またそれらが公然の秘密として、教職員課、一部の校長の間で情報共有されていたことが明らかになる中、愛教大等学閥が絡む金品や推薦名簿の授受が今回報道されている規模以上のものである可能性もあります。

わたしたちは今後の調査において、貴チームに下記4点を望みます。

記

- 1、検証チームにおいて、現在行われている任意団体への聞き取りの範囲をさらに拡大し、市教委OB、校長会OBや、その関係者に至るまで詳細なヒアリングを行い、全貌を解明してください。
- 1、検証チーム内の会議等の場で、わたしたち職員団体の代表者に発言の機会を与えてください。
- 1、最終報告書では愛教大等学閥が名古屋市教育委員会内で実際に行った事柄について詳細かつ具体的に記し、社会や市民・教職員に対してすべての疑念が晴れるようにしてください。
- 1、学閥の影響をなくすために、今後とるべき方策を具体的に示してください。

以

上